

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

		整理番号	143
事業名	交通対策協議会	予算科目	会計 一般会計・1
担当部課名	市民生活部 生活環境課		款 総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5024		項 総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目 交通対策費・10目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_	
	まちづくりの目標	とにかく「いのち」が一番_【安全】	
	施策目標	防犯や安全への意識を高め、子どもや市民を危険から守る	

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 南あわじ市及び関係機関に交通安全対策について、広域的な方法を協議し、交通安全を通じ地域住民の福祉の向上に資する。			
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) 交通安全対策 広報活動 交通安全教育 その他交通安全に関する事業			
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等)			
		南あわじ市 南あわじ警察 南あわじ交通安全協会 南あわじ自家用車協会 南あわじ市連合自治会 南あわじ市老人クラブ連合会 南あわじ市連合婦人会 役員：会長1名、副会長1名、監査委員2名、任期1年、役員数24名	構成員人数(人)	24	
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
	補助金算出根拠	事業実施報告者及び行事計画案を精査し補助額を決定している。 南あわじ市補助金交付要綱に基づき交付している。 予算査定においては、枠配分により減額するとともに、平成23年度から補助金を廃止し、一般会計予算に計上した。			
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度 ~ 平成	22 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併前は、各旧4町でそれぞれ組織されていた。				

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	1,500	1,500	1,300	1,300	0
	交通対策協議会負担金	1,500	1,500	1,300	1,300	0
	事務局事務費(市が事務局の場合)					
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	1,500	1,500	1,300	1,300	0
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
	年間経費([A]+[B])	1,500	1,500	1,300	1,300	0
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-
経費に関する 補足説明	南あわじ市交通安全協会からの負担金 = 300千円、自家用自動車協会からの負担金 = 250千円、本負担金 = 1,300千円で運営している。 平成23年度より交通安全啓発事業として一般会計で予算化。 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 年間計画については、充実・安定しており、計画通りに執行されている。 啓発活動等については、南あわじ市連合自治会、南あわじ市老人クラブ連合会、南あわじ市連合婦人会等、ボランティア活動に支えられ、費用対効果を上げている。				自己評価 (5点評価)
					4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 交通安全期間中の啓発運動については、本協議会で対応しており、組織の充実と市民の交通安全意識の高揚が図られている。 被害弱者である、高齢者や児童生徒の交通安全教育においても寄与している。 交通事故多発箇所や事故現場の今後の安全確保のための背策について、機敏に対応できている。				
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 交通安全期間中の該当啓発については、1日当たり9箇所・100人の体制で実施しており、活発な活動を展開している。 各学校において自転車運転免許制度モデル事業等を通じて児童・生徒に交通安全のルールとモラルを習得させるとともに命の大切さの学習もを行っている。 高齢者対策としてシルバー指導員制度を実施し多発している高齢者事故の防止に努めている。 以上、警察・安全協会・自家用車協会のほかは、すべてボランティアが担っており、市民中心の活動と考えている。				<p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p>

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
今後の方向性とその理由	交通安全期間中を中心に、街頭啓発や交通安全教室を開催するとともに、交通事故発生傾向について検証し、交通事故発生場所の再発防止と、高齢者の安全運転・安全確保及び児童生徒の交通安全指導を重点的に活動していく計画である。	同左。
(現状維持以外の改善方法)	平成23年度より交通安全啓発事業として予算化する。	同左。
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	年度計画を綿密に行い、一般会計予算に計上することにより、繰越金の発生や無駄な経費の支出を抑制することができる。	同左。
(現状維持の場合も記入)	仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 廃止を決定し、支障の無いように努める。	